



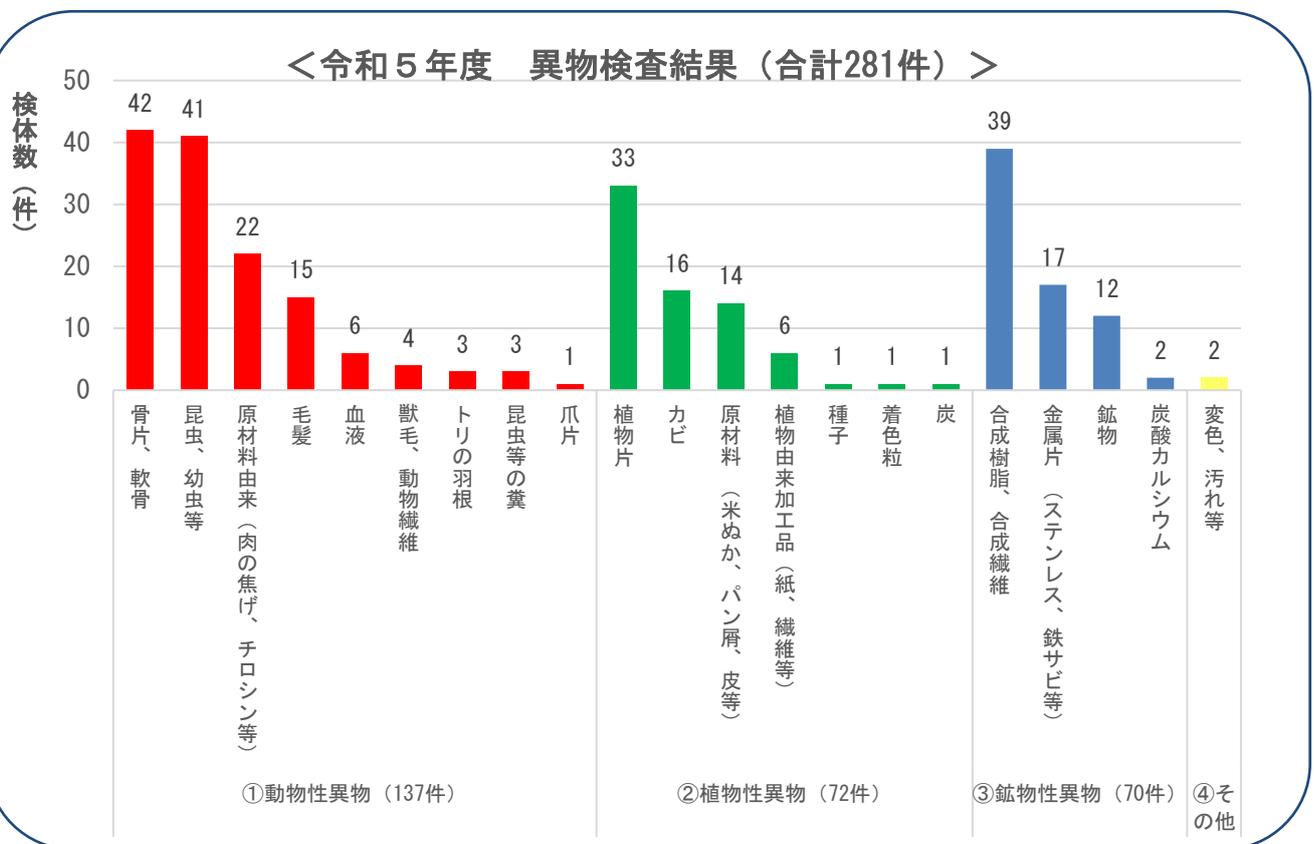
令和5年度(R5.4~R6.3) 異物検査結果について

兵庫県学校給食・食育支援センターでは、市町教育委員会、学校、共同調理場等からの依頼を受けて、調理中、配膳中、喫食中等に発見された異物が何であるかを調べる異物検査を実施しています。

【市・町等から依頼を受けた異物検査について】

令和5年4月から令和6年3月において、市・町等からの依頼により計281件の異物検査を実施しました。その結果、件数の多い異物TOP3は①骨片、軟骨42件、②昆虫、幼虫等41件、③合成樹脂、合成繊維39件でした。

また、原材料由来であると推測される異物（肉の筋や米ぬかなどの原材料だけではなく、野菜につく幼虫や肉の骨片などを含む）は138件で、全体の約49%を占めていました。

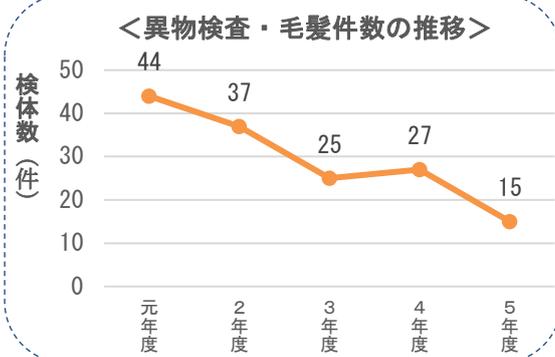


～ 毛髪の混入について ～

令和元年度には①骨片、軟骨46件②毛髪44件と全体で2番目に多い異物でしたが、この5年間でその件数は大きく減少しています。（参照：右グラフ）

また、令和5年度の毛髪15件のカタラーゼ試験（加熱の有無の試験）の結果は、陽性6件、微陽性2件、陰性4件、不明（毛根がない）3件でした。

約50%以上が、加熱されていない可能性が高い（陽性および微陽性）と推測されました。



このように異物が何であるかを確認し、その混入時期や過程を推測することにより、再発防止対策や衛生管理の向上に活用していただいています。